

# 2025 年度 学校評価シート（自己評価）

こゆるぎ幼稚園

## 1・教育理念、教育方針

|  |
|--|
| <p>○教育理念<br/>元気で 心優しく しっかり考えられる子を育てる</p> <p>○教育方針<br/>健康でたくましい身体の子どもを育てる<br/>・元氣よく遊べる子 ・物事に興味関心を持つ子<br/>優しい心を持った子どもを育てる<br/>・友だちと協力できる子 ・仲良く遊ぶことができる子<br/>自立できる子どもを育てる<br/>・はっきり話をする子 ・人の話をよく聞く子 ・物事をしっかり見つめる子</p> |
|--|

## 2・具体的な目標や計画

|   |
|---|
| <p>評価項目に沿って自己点検、自己評価することにより、教師自らが第三者の立場で自園を見る目を養い、教育内容・教育環境等の改善に取り組んでいくことを目標とする。</p> <p>また、子ども理解・幼児教育の質の向上を促進するため園内外の研修に積極的に参加し、その情報や手法を教員間で共有することで園全体の教育力の向上を目指すとともに、業務内容・手法の見直し・改善に目を向け、また他者へ協力を要請し、適正な終業時間の維持に努める。</p> |
|---|

## 3・評価項目の取り組み及び達成状況

| 評価項目  | 結果(※) | 結果の理由   |
|---|-------|---|
| 子どもが主体的に遊びを楽しむと共に遊びの中に学びのある教育活動を展開する。                       | B     | 子どもの発見やアイデア、やり取りを大切にしたい遊びの展開を意識し、個々の成長や興味に合わせた援助や環境構成に努めた。              |
| 園内の施設環境、子どもに対する教育環境等の見直し・改善に努める。                            | B     | 教材室の整理整頓や、子どもの動線・興味に合わせたアトリエや遊具の配置変更に取り組んだ。また視覚的な工夫（ビニールテープでの目印等）等も行った。 |
| 教育活動の環境整備に当たっては子どもたちの安全・安心が確保され、コンプライアンスが十分に守られた環境を提供できている。 | B     | 園庭・室内の安全確認や清掃を徹底し、着替え時のプライバシー配慮（男女別など）にも意識的に取り組んだ。                      |
| 子どもについてクラス・園全体で話し合い、情報共有・共通理解・対応の整合を図る。                     | B+    | クラスや学年内では、ホワイトボードの活用や日々の対話を通じて密な情報共有と共通理解が図られた。                         |

|   |    |   |
|---|----|---|
| 園だより・ボードフォリオ・こゆるぎ日記等で、園の教育について適切に情報を提供する。         | A- | ブログやボードフォリオなどの ICT ツールを積極的に活用し、写真や文章で子どもの学びや園の活動を具体的に、分かりやすく保護者へ伝えられるよう努めた。 |
| 内外の研修等に積極的に参加し、自己研鑽に努めると共に、園全体の子ども理解・保育の質の向上に努める。 | B  | 外部研修や園内研修に積極的に参加し、得た知識や視点を日々の保育や環境構成に還元しました。また研修報告を通じて職員間での学びの共有も行った。       |
| 保護者のニーズの把握につとめ、要望や意見に適切な対応を図る。                    | B+ | 保護者からの要望や意見に対し、丁寧な聞き取りと誠実な対応を心がけ、信頼関係の構築に努めた。                               |
| 自らの業務はもちろん、園全体の業務を円滑にするための取組みに気付き、役割を越えた関りが持てる。   | B  | 学年を越えたフォローや、清掃、備品整理など、園全体の働きやすさを意識した行動を心掛けた。                                |

#### 4・具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| 結果 | 理由   |
|----|--|
| B  | 子ども主体の保育や ICT を活用した保護者連携において良い成果が見られたと感じる。学年内での密な情報共有により個々に合わせた援助ができた一方、自身の業務に追われ園全体まで視野を広げられなかった点が共通の課題である。今後は強みを維持しつつ、学年を越えた連携強化と専門スキルの向上を図り、園全体で子どもを見守る体制の強化を目指す。 |

#### 結果(※)について

|   |                    |
|---|--------------------|
| A | 十分達成されている          |
| B | 達成されている            |
| C | 取り組まれているが成果が十分ではない |

#### 5・今後取り組むべき課題

| 課題            | 具体的な取り組み方法  |
|---------------|---|
| 全園的な情報共有の深化   | クラス・学年単位での共有は密に行われているが、園全体でのスピード感ある情報共有と共通理解をさらに深め、どの職員も同じ視点で対応できる体制を目指す。 |
| 業務の効率化と専門性の向上 | ICT ツールのさらなる習熟や、計画的な業務遂行（時間内での業務完了）を目指し、教職員の心身の健康と保育準備に充てる時間のバランスを最適化する。  |